



平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月9日

上場取引所 東

上場会社名 インспек株式会社
コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成28年9月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	311	3.0	△55	—	△62	—	△56	—
28年4月期第1四半期	302	—	△83	—	△93	—	△110	—

(注)包括利益 29年4月期第1四半期 △88百万円 (—%) 28年4月期第1四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年4月期第1四半期	△21.61	—
28年4月期第1四半期	△42.62	—

(注)前々連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成28年4月期第1四半期の対前期増減比率は記載しておりません。
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年4月期第1四半期	2,163	681	23.7	196.90
28年4月期	2,115	789	28.8	234.56

(参考)自己資本 29年4月期第1四半期 512百万円 28年4月期 610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	950	88.5	△18	—	△37	—	△58	—	△22.66
通期	2,320	42.5	170	—	160	—	100	—	38.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期1Q	2,601,800 株	28年4月期	2,601,300 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年4月期1Q	— 株	28年4月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期1Q	2,601,338 株	28年4月期1Q	2,601,300 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年5月1日～平成28年7月31日）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調が続いておりましたが、6月の英国EU離脱問題から端を発した欧州不安の影響を受け、景気減速懸念が強まっております。一方、海外においては、米国では消費や設備投資の増加により景気は拡大基調が続いておりますが、欧州では英国経済を中心に先行き不透明な状況が続いております。また、中国をはじめとする新興国では依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は311百万円（前年同期比3.0%増）、営業損失は55百万円（前年同期は営業損失83百万円）、経常損失は62百万円（前年同期は経常損失93百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失110百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますA V I（自動最終外観検査装置）及びA O I（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しており、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は651百万円となっております。しかしながら、現受注案件につきましては第2四半期以降に納入が多いことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は178百万円となり、セグメント損失は34百万円となりました。

②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第1四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソ（基板のフィルム原版を印刷する装置）が売上を牽引しておりますが、第2四半期に納入時期が延びた案件もあることから、当第1四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は124百万円となり、セグメント損失は21百万円となりました。

③デジタルパソロジー関連機器事業（テラ株式会社）

当第1四半期連結累計期間におきましては、W S I（Whole Slide Imaging、旧名：パーチャルスライドシステム）の販路拡充に努めており、受注活動に注力しましたが、売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は8百万円となり、セグメント損失は2百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ47百万円増加し、2,163百万円となりました。これは主に、現金及び預金208百万円の増加、受取手形及び売掛金127百万円の減少、仕掛品67百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、1,481百万円となりました。これは主に、短期借入金140百万円の増加、長期借入金94百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、681百万円となりました。これは主に、利益剰余金56百万円の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、平成28年6月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,915	549,316
受取手形及び売掛金	453,627	326,337
電子記録債権	57,909	—
商品及び製品	60,017	49,777
仕掛品	238,342	305,899
原材料及び貯蔵品	65,227	71,005
その他	208,956	222,590
貸倒引当金	△7,200	△7,200
流動資産合計	1,417,797	1,517,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	181,010	178,493
機械装置及び運搬具（純額）	14,599	41,302
土地	20,350	20,350
建設仮勘定	78,419	50,138
その他（純額）	18,064	16,762
有形固定資産合計	312,443	307,046
無形固定資産		
のれん	346,099	302,848
その他	21,587	18,540
無形固定資産合計	367,686	321,389
投資その他の資産	17,324	16,911
固定資産合計	697,454	645,347
資産合計	2,115,251	2,163,075
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	181,717	205,346
短期借入金	—	140,000
1年内返済予定の長期借入金	244,469	224,509
未払法人税等	1,741	809
製品保証引当金	28,031	17,756
課徴金引当金	12,240	12,240
繰延税金負債	3,864	3,422
その他	115,699	234,079
流動負債合計	587,762	838,164
固定負債		
長期借入金	701,464	607,345
繰延税金負債	18,083	17,926
資産除去債務	302	302
その他	18,616	17,994
固定負債合計	738,466	643,568
負債合計	1,326,228	1,481,732

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,400	485,505
資本剰余金	84,534	84,639
利益剰余金	68,266	12,045
株主資本合計	638,201	582,190
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△28,034	△69,894
その他の包括利益累計額合計	△28,034	△69,894
新株予約権	27,654	30,830
非支配株主持分	151,202	138,215
純資産合計	789,023	681,342
負債純資産合計	2,115,251	2,163,075

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年5月1日 至平成27年7月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年5月1日 至平成28年7月31日）
売上高	302,646	311,818
売上原価	167,486	181,573
売上総利益	135,160	130,244
販売費及び一般管理費	218,345	186,166
営業損失（△）	△83,185	△55,921
営業外収益		
受取利息	190	476
貸倒引当金戻入額	—	2,446
その他	327	251
営業外収益合計	518	3,174
営業外費用		
支払利息	7,922	8,113
手形売却損	—	302
その他	2,580	1,125
営業外費用合計	10,502	9,540
経常損失（△）	△93,170	△62,288
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△93,170	△62,288
法人税、住民税及び事業税	7,432	324
法人税等調整額	△167	△598
法人税等合計	7,264	△273
四半期純損失（△）	△100,434	△62,015
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	10,435	△5,794
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△110,870	△56,220

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日）
四半期純損失（△）	△100,434	△62,015
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	38,312	△26,004
その他の包括利益合計	38,312	△26,004
四半期包括利益	△62,122	△88,019
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,764	△74,975
非支配株主に係る四半期包括利益	16,641	△13,044

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）（単位：千円）

	報告セグメント			合計	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	半導体パッケ ージ基板・精 密基板検査装 置関連事業	精密基板製造 装置関連事業	デジタルパン ロジー関連機 器事業		
売上高					
外部顧客への売上高	94,580	203,794	4,271	302,646	302,646
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	94,580	203,794	4,271	302,646	302,646
セグメント利益 又は損失(△)	△101,227	19,223	△1,181	△83,185	△83,185

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日）（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2)
	半導体パッケ ージ基板・精 密基板検査装 置関連事業	精密基板製造 装置関連事業	デジタルパン ロジー関連機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	178,978	124,310	8,529	311,818	—	311,818
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	178,978	124,310	8,529	311,818	—	311,818
セグメント損失(△)	△34,597	△21,689	△2,871	△59,157	3,235	△55,921

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額3,235千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（重要な後発事象）

「連結子会社の第三者割当による新株式発行」

連結子会社であるテラ株式会社（以下、テラという）は、平成28年7月29日開催のテラ定時株主総会において、第三者割当増資を決議し、平成28年8月4日にその払込みが完了しております。

（1）増資の理由

当社の連結子会社であるテラは、業容拡大計画に伴う増加運転資金等の調達を目的に、資本金の額を金47,500千円増やして金157,500千円にするため、本第三者割当増資を実施することといたしました。

（2）テラ株式会社の概要

① 名称	テラ株式会社	
② 所在地	青森県弘前市土手町212番地1	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 菅原 雅史	
④ 事業内容	医療関連機器の開発・製造・販売	
⑤ 資本金	110,000千円	
⑥ 設立年月日	平成26年10月20日	
⑦ 大株主及び持株比率	インスペック株式会社	61.9%
	株式会社ユーブランニング	11.9%
	合同会社MCCベンチャーキャピタル（注）	11.9%

（注）平成28年8月10日に開催されたテラ取締役会において、株式会社滋慶が保有している普通株式全部を合同会社MCCベンチャーキャピタルに譲渡することが承認されております。

（3）第三者割当増資の概要

① 払込期日	平成28年8月4日	
② 発行新株式数	普通株式 475,000株	
③ 発行価額	1株につき200円	
④ 払込金額の総額	95,000千円	
⑤ 資本組入額	1株につき100円	
⑥ 資本組入額の総額	47,500千円	
⑦ 第三者割当後の持株比率	インスペック株式会社	50.5%